

奈良西

ロータリークラブ

便り

39

奈良西ロータリークラブ会長

有馬 康明さん(68)

きれいな水を利用できないことは基本的な人権の一つだ。地球は「水の惑星」とも呼ばれているが、地球の3分の2は水で覆われ、およそ14億立方トンの水があるとされる。

だが、そのうちの97.5%は海水で、淡水はわずか2.5%しかない。しかも淡水の大部分は南極や北極地域などの氷や氷河。凍っていない水は地下水なので、人間が比較

健康的な生活へ支援

ロータリーの3月は「水と衛生月間」

比較的簡単に使える水は全体のわずか0.01%に過ぎない。

私たちにとって、水は毎日の生活に欠かせないもので、さまざまに水の恩恵を受けている。けれども、世界にはこうした習慣とは無縁の地域が数多く存在する。きれいな水、トイレなど、衛生設備がない日常を送っている人々は世界で25億人以上。汚染された水で下痢疾患となり、命を落とす子供たちが毎日3千人いるという。

きれいな水は人間の基本的ニーズで、特に子供

たちがより健康的で実りある生活を送ることを可能にする。ロータリークラブは、安心して飲める衛生的な水をだれもが手にできる状態の実現を目標に掲げている。地域社会が長期的に水を確保し、衛生施設を維持でき

るよう支援するほか、水と衛生に関する研究支援、人材教育にも力を入れている。

3月22日は「世界水の日」。水の重要性についてあらためて考えたい。

|| 毎月第3月曜日掲載 ||



例会で水の重要性について話す有馬会長＝8日、奈良市法華寺町の奈良ロイヤルホテル